

2022年 9月22日  
京成電鉄株式会社

## 環境負荷軽減に向けた SDGs の推進 グリーンローンによる資金調達を行います

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：小林 敏也）では、サステナビリティ経営のさらなる推進に向け、環境負荷軽減に資する事業資金を、当社初となる「グリーンローン」で調達します。

グリーンローンとは、グリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資のことです。調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートングを通じ、透明性が確保される等の特徴を有しています。

当社は、2030年グループビジョンとして、「京成グループの事業エリアのみならず、日本の玄関口、成田空港の機能強化への寄与を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献する」を掲げています。今回のグリーンローンは、投資家をはじめとするステークホルダーの皆様在京成グループの取り組みをより一層認知いただくとともに、環境負荷軽減に向けた SDGs の推進、持続可能な社会の実現を目的としています。

本件の概要は、次項の通りです。



## 「グリーンローン」の概要について

### 1. 借入概要

ローン種別	グリーンローン(シンジケーション方式)
契約締結日	2022年9月22日
アレンジャー/エージェント	三井住友信託銀行
借入金額	100億円
参加金融機関(50音順)	群馬銀行、京葉銀行、常陽銀行、筑波銀行、百十四銀行、三井住友信託銀行、ゆうちょ銀行

### 2. 調達資金の使途

本グリーンローンで調達した資金は、全額を以下のプロジェクトに充当する予定です。

グリーンプロジェクト	概要	適格プロジェクト (事業区分)	SDGs
①3100 形車両導入 	モーターを効率よく制御する「SiC-VVVF 制御」システムや、減速時にモーターで発電した電力を架線に戻す「回生ブレーキ」を採用。3000 形に比べ約 15%消費電力を削減。	車両の導入に係る投資 (クリーン輸送)	
②法面補強実施 	法面(鉄道線路の盛土部、掘割部の線路脇の斜面)の補強工事を実施し、大雨等によって法面が崩れる土砂災害を防止。	鉄道関連設備に係る投資 (気候変動への適応)	
③高架橋改修 	沿線地域の高架橋の改修を推進することで、激甚化する豪雨、洪水、地震時の災害に対応。	鉄道関連設備に係る投資 (気候変動への適応)	
④変電所設備更新 	機械更新時、環境負荷ゼロの材料を使用。 ・変圧器:生分解性のある植物油を絶縁油に使用し、廃棄時の環境負荷を軽減 ・整流器:ノンフロン、地球温暖化係数ゼロを実現	鉄道関連設備に係る投資 (クリーン輸送)	
⑤京成千葉中央ビル 建設資金 	京成千葉線「千葉中央駅」直結の商業・オフィス・ホテルからなる複合施設であり、CASBEE-建築(新築) B+ランクを取得。 所在地:千葉市中央区本千葉町 15 番 1 号	環境に配慮した不動産 開発に係る投資 (グリーンビルディング)	  

### 3. フレームワークの作成及び第三者評価(セカンドオピニオン)の取得

本件取り組みにあたり、「調達資金の用途」「プロジェクトの評価と選定プロセス」「調達資金の管理」「レポーティング」等の方針を記載したサステナブルファイナンス・フレームワークを策定しています。本フレームワークは、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、グリーンローン原則等に適合していることについて、第三者評価(セカンドオピニオン)を取得しました。

※サステナブルファイナンス・フレームワーク及び第三者評価(セカンドオピニオン)の詳細については、当社ウェブサイトからご確認ください。

URL : <https://www.keisei.co.jp/keisei/ir/csr/finance.html>

以 上